

IO_MEMORY_TEST (Virtual COM PORT) プログラムの使用方法

注) 内容には万全を期しておりますが、コンピュータの環境によっては本内容と異なる結果が発生する場合があります。

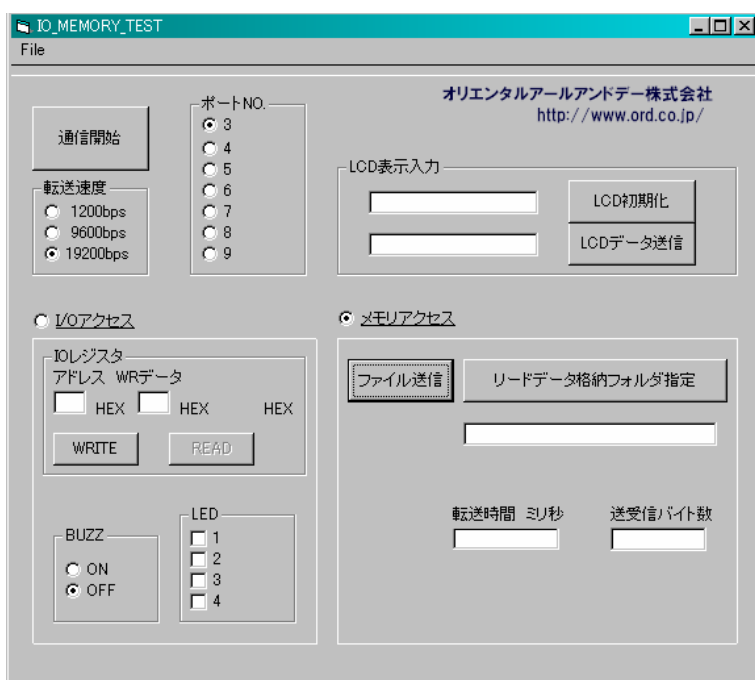
本内容によってお客様のコンピュータに対し、いかなる損害、データ損失、不具合そのほかいかなる結果が発生しても当社は責任を負いかねるものとします。

一般に社名ならびに商品名については各社の商標ならびに登録商標です。

ドライバ (Virtual COM PORT) およびテストプログラムのインストールが完了し、本評価ボードがUSB ケーブルにてパソコンと接続されていることを確認してください。

注) SELF_POWER モードの場合は電源アダプタにより電源供給する必要があります。

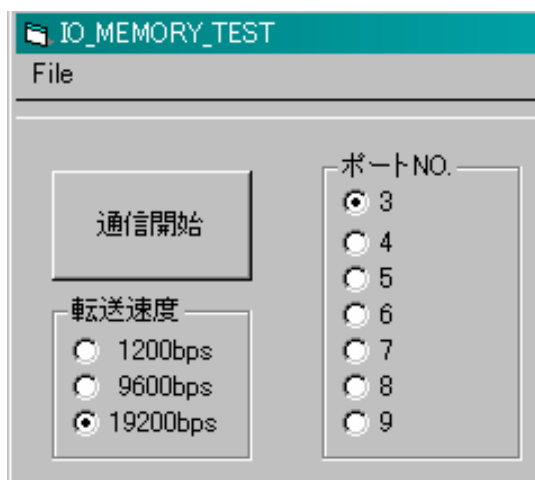
BUS_POWER モードの場合はその必要はありません。



テストプログラムを起動してください。

まず初めに「ポートNO.」を選択し「通信開始」をクリックし表示が「通信停止」に変わることを確認してください。

ポートNO. が正しくない場合は表示が「通信開始」のままです。



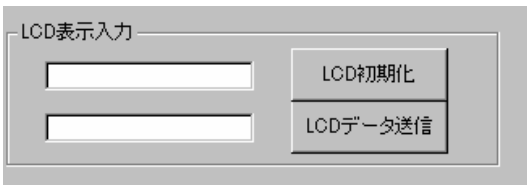
正しいポートNO. の確認はお使いのパソコンのWindowsのコントロールパネルのシステムを開き、さらにハードウェアのデバイスマネージャーを開き、ポート (COM とLPT) のUSB Serial Port (COM 3) を確認してください。
例) この場合ポートNO. は3 になります。



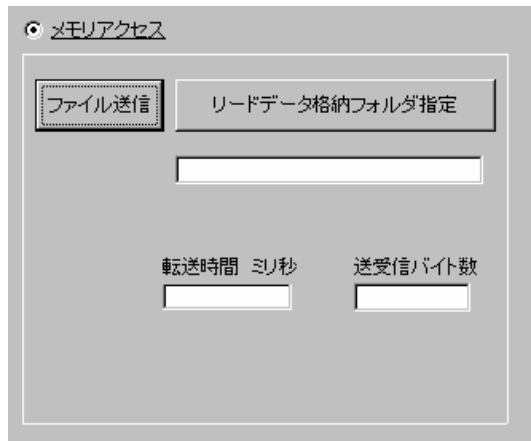
I/O レジスタへのリードライトは「I/O アクセス」を選択し、アドレス、WRデータ欄に16進2桁データを入力し[WRITE]または[READ]をクリックしてください。アドレス[00]はLED、[01]はブザーに[02]はSWステータスに予約されています。

ブザーを鳴らす場合はBUZZの「ON」を、止める場合は「OFF」をチェックしてください。

LEDを点灯させるにはLEDの「1」～「4」のセレクトをチェックしてください。



LCD への表示は初めに「LCD 初期化」をクリックしその後LCD 表示入力欄に表示したい文字を入力し、その後「LCD データ送信」をクリックします。



メモリの読み書きは、まず初めに「メモリアクセス」をクリックし、「リードデータ格納フォルダ」をクリックし格納フォルダを指定してください。

・WRITE

メモリへの書き込みはコマンドファイルを送信し、その後続けてデータファイルを送信します。

例) メモリ 1 への書き込み

添付CD-ROM にあるコマンドファイル **mem1_write512k.cmd** をFile 選択し、「ファイル送信」をクリックします。その後、添付CD-ROM にあるデータファイル **転送データ512k.dat** をFile 選択し、「ファイル送信」をクリックします。

・READ

メモリからの読み出しはコマンドファイルを送信します。

例) メモリ 2 から512KB 読み込み添付CD-ROM にあるコマンドファイル

mem2_read512k.cmd をFile 選択し、「ファイル送信」をクリックします。

読み込みが完了するとリードデータ格納フォルダにファイルとして保存されます。